



宗像市は、熱中症ゼロを目指し、民間企業と連携して市内の民間施設、公共施設合わせて26カ所を「まちなかの『涼み処』」として開設しました。

令和5年度は、宗像地区消防本部管轄の宗像市・福津市で110人が熱中症で救急搬送されており(対前年比152%)、特に65歳以上の割合が約56%と過半数を占めます。

令和6年度は大塚製薬と連携し、市内の各地区コミュニティ・センターで、熱中症対策セミナーを実施しています。しかし、近年の猛暑により外出時に暑さをしのげる場所が求められています。

このため、6月20日(木)から10月23日(水)までの期間に、日頃から暑さをしのげるまちなかの『涼み処』として一般開放します。また、環境省が「熱中症特別警戒アラート」を発令した際には、指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)として開設します。

見目で分かりやすいよう、のぼり旗を掲出し、最寄りの対象施設が分かるように市公式ホームページにて閲覧できる「まちなかの『涼み処』デジタルマップ」を作成しました。

今後も民間事業者と連携し、本格化する猛暑に備えた熱中症対策を行っていきます。

【まちなかの『涼み処』の概要】

開設期間 : 令和6年6月20日(木)から10月23日(水)まで

熱中症特別警戒アラートの発令時はクーリングシェルターとして開設

開設箇所数 : 26カ所(民間施設5カ所、公共施設21カ所)

民間施設 : サンリブくりえいと宗像店、スーパービバホーム赤間店、グローバルアリーナ、CoCokara ひのさと、エフコープ自由ヶ丘店

公共施設 : 宗像ユリックス、メイトム宗像、各地区コミュニティ・センターなど

※取材を希望する場所があれば、職員が現地で解説します



《google マイマップを使用したデジタルマップとQRコード》



《サンリブくりえいと宗像店の涼み処》

【問い合わせ先】

宗像市 脱炭素社会推進課 (担当:根来(ねごろ)・愛月) TEL:0940-36-9875